

SCRAP BOOK

TKK NO.83 PATENT 91636



14
1919
238



市島光子

38 3346

14
1919

重要美術品
一、大刀 銘 國水 一口 (傳平安朝末期・山城)
國寶
一、大刀 銘 貞次 一口 (鎌倉初期・備中)
一、大刀 銘 長光 名物大般若 一口 (同 中期・備前)

重要美術品
一、刀 大摺上ヶ雲次 天文三年 一口
武田信虎ノ所持銘アリ (鎌倉末期・備前)
一、大刀 銘 康光 一口 (足利時代・備前)
一、秘傳抄砂鐵本 一册 (桃山時代)
一、古今鍛冶備考 献上版本 九册 (幕末時代)
山田吉晴著
一、校正古刀銘鑑家元本 一册 (同)

東京 橋本元佑殿
一、鑄工廿四匠圖 一幅 (江戸時代)
東京 侯爵 細川護立殿
國寶
一、大刀 銘 豐後國行平作 一口 (鎌倉初期・豐後)

國寶
一、短刀 銘 則重 一口 (同 末期・越中)
一、高彫色繪春日野圖撫角形鐵鐔 一枚
城州伏見住金家
一、高彫色繪毘沙門天圖拳形鐵鐔 一枚
城州伏見金家
一、九曜櫻紋透象嵌花形鐵鐔 一枚
金銘 又七作 (桃山時代)

國寶
一、大刀 銘 熊野三品權現長光 一口 (鎌倉中期・備前)
重要美術品
一、短刀 銘 粟田口有國 一口 (同 末期・山城)
長曾禰興里入道虎徹
石燈籠切 一口 (江戸時代・江戸)

東京 本阿彌猛夫殿
一、短刀 銘 備前長船住長重 一口 (鎌倉末期・備前)
東京 本間順治殿
一、紛寄論 寫本 一册 (桃山時代)
慶長版本 一册 (同)
一、解紛記 奧書 慶長十二年未七月四日 黒鹿 一卷 (同)
一、壽齋本光德押形 寫本 二册 (同)
古今銘鑑 漢語原本 二册 (同)

一、古刀銘盡大全 仰木伊織著 寛政版本 九册 (江戸時代)
一新刀辨疑 鎌田魚妙著 九册 (幕末時代)
一、大刀 銘 安綱 一口 (傳平安朝時代・伯耆)
一、短刀 銘 金重 一口 (吉野朝時代・美濃)
一、刀 銘 井上真改 一口 (江戸時代・江戸)
延寶二年二月日

東京 公爵 徳川家 達殿
國寶
一、大刀 銘 三條 名物三日月宗近 一口 (傳平安朝中期・山城)
一、大刀 銘 國綱 一口 (鎌倉初期・山城)
一、刀 銘 於南紀重國造之 一口 (桃山時代・和歌山)

東京 東京美術學校殿
一、後藤家文書 三册 (江戸時代)
東京 伯爵 奥平昌恭殿
一、刀 銘 長曾禰興里入道虎徹 一口 (江戸時代・江戸)

東京 子爵 大河内正敏殿
重要美術品
一、大刀 銘 備前國長船住近景 一口 (嘉曆三年 月日)
(鎌倉末期・備前)

一、赤木柄腰刀 (模造原品同寶箱根神社所藏) 一口
一、楠公拵腰刀 (模造集古十種ニ據ル) 一口
一、櫻花唐草彫上丸形鐵鐔 一枚 (足利時代)
一、赤銅魚子地高彫色繪達磨圖小柄 銘 安親 一口 (江戸時代)
一、赤銅魚子地高彫色繪獅子圖小柄 銘 宗瑠花押 一組 (同)
一、薄肉彫司馬公圖鑲銀小柄 銘 乘意 一口 (同)
一、同 象嵌鬼鐘道圖小柄 銘 乘意 一口 (同)

一、赤銅色繪翁目貫 光侶折紙付 一具 (足利時代)
一、金一正獅子目貫 祐乘作 一具 (同)
一、赤銅色繪虎目貫 光乘作 一具 (同)
一、赤銅魚子地高彫色繪孔雀鳳凰圖小柄 銘 後藤德乘花押 一本 (桃山時代)
一、赤銅魚子地高彫色繪柳三鴉圖木瓜形鐔 銘 後藤法橋一乘花押 一枚 (幕末江戸時代)

一、赤銅魚子地高彫色繪柳三鴉圖木瓜形鐔 銘 後藤法橋一乘花押 一組
一、高彫色繪青刈圖木瓜形鐵鐔 一枚
銘 伯應花押對高屋刀鐔長月作 安政戊午年應需
一、赤銅魚子地高彫蝠鹿壽圖綠頭 銘 後藤法橋一乘花押 一組
一、綠安宅拵脇指 總金具 夏雄作 鐔銘 左京人 夏雄 綠頭目貫銘 夏雄 小柄銘 戊午年 夏雄作 一枚

一、赤銅高彫色繪柳三鴉圖鐔 一枚
銘 夏雄 庚申季秋
一、赤銅魚子地高彫色繪箱圖小柄 銘 後藤榮乘花押 一本 (江戸時代)
一、赤銅魚子地高彫色繪俱利伽羅龍三品物 銘 後藤顯乘花押 一組
一、臙銀色繪鶴目貫 一具
一、右顯乘目貫添鐵鋤出彫妙ニ歌線頭 一具 銘 顯乘目貫干副 洛伯應作 一組

名古屋 岡島吉郎殿
重要美術品
一、大刀 銘 備前國長船住近景 一口 (建武二年五月日)
一、脇指 銘 日州名古屋住國廣作 一口 (天正十四年八月日)
東京 若杉繁一郎殿
重要美術品
一、大刀 銘 一 一口 (鎌倉中期・備前)
一、短刀 銘 備前長船住近景 一口 (元德三年五月日)
一、同 銘 元德三年五月日 (同 末期・備前)

一、短刀 銘 西蓮 一口 (同 末期・筑前)
東京 和田虎雄殿
一、刀 銘 長曾禰興正 一口 (徳川時代・江戸)
東京 神津伯殿
一、短刀 銘 肥後守輝廣 一口 (桃山時代・廣島)
一、短刀 銘 越中守正俊 一口 (同 京都)
一、短刀 銘 吉光 一口 (鎌倉中期・山城)
一、同 銘 左安吉作 正平十二年二月日 一口 (吉野朝時代・筑前)
一、同 銘 兼友 一口 (同 美濃)

東京 金森一吉殿
一、刀 銘 繁慶 一口 (桃山時代・江戸)
一、脇指 銘 莊司筑前大掾直胤花押 彫よししたれ文政十四年仲秋 一口 (幕末時代・江戸)

一、赤銅魚子地高彫色繪二玉圖小柄 銘 赤銅魚子地高彫色繪二玉圖小柄 一組
銅高彫色繪二玉目貫 銘 宗瑠花押 一組
一、赤銅魚子地高彫色繪獅子圖小柄 銘 同 斧 銅高彫色繪獅子目貫 一組 (同)
一、薄肉彫司馬公圖鑲銀小柄 銘 乘意 一口 (同)
一、同 象嵌鬼鐘道圖小柄 銘 乘意 一口 (同)

一、赤銅色繪翁目貫 光侶折紙付 一具 (足利時代)
一、金一正獅子目貫 祐乘作 一具 (同)
一、赤銅色繪虎目貫 光乘作 一具 (同)
一、赤銅魚子地高彫色繪孔雀鳳凰圖小柄 銘 後藤德乘花押 一本 (桃山時代)
一、赤銅魚子地高彫色繪柳三鴉圖木瓜形鐔 銘 後藤法橋一乘花押 一枚 (幕末江戸時代)

一、赤銅魚子地高彫色繪柳三鴉圖木瓜形鐔 銘 後藤法橋一乘花押 一組
一、高彫色繪青刈圖木瓜形鐵鐔 一枚
銘 伯應花押對高屋刀鐔長月作 安政戊午年應需
一、赤銅魚子地高彫蝠鹿壽圖綠頭 銘 後藤法橋一乘花押 一組
一、綠安宅拵脇指 總金具 夏雄作 鐔銘 左京人 夏雄 綠頭目貫銘 夏雄 小柄銘 戊午年 夏雄作 一枚

一、刀 銘 備前國住長船與三左衛門尉祐定 爲栗山興九郎作之 永正十八年二月吉日 信長拵附 一口 (足利時代・備前)
一、短刀 銘 武藏大掾藤原忠廣 影物理忠七左 (桃山時代・佐賀)
一、刀 銘 津田越前守助廣 天和元年十二月日 (江戸時代・大阪)
一、脇指 銘 八幡宮藏書内如影之 一册 (桃山時代・江戸)
一、刀 銘 長曾禰興里入道虎徹 一口 (江戸時代・江戸)

一、脇指 銘 長曾禰興里入道虎徹 一口 (江戸時代・江戸)
一、脇指 銘 長曾禰興里入道虎徹 一口 (江戸時代・江戸)
一、高彫色繪唐人物圖木瓜形鐵鐔 銘 山城國伏見住金家一枚 (足利時代)
一、七寶象嵌丸形鐵鐔 初代平田 一枚 (桃山時代)
同 二代平田 一枚 (同)

重要美術品
一、柏文象嵌丸形眞鍮鐔 一枚 (桃山時代)
銘 理忠明壽
一、赤銅魚子地高彫色繪牡丹獅子圖小柄 赤銅高彫色繪牡丹獅子目貫 一組 (江戸時代)
銘 宗瑠花押
重要美術品
一、高彫色繪木賊形眞鍮鐔 一枚 (江戸時代)
銘 安親

一、高彫色繪色豊干禪師圖丸形眞鍮鐔 銘 安親 一枚 (同)
一、薄肉彫象文丸形鐵鐔 銘 安親 一枚 (同)
一、薄肉彫鐵拐圖鑲銀小柄 銘 乘意 一本 (同)
一、頼山陽書軸 一幅
一、刀匠三作肖像 桂意廣壽筆一幅 菅原長根贊

東京 伯爵 伊達 宗殿
重要美術品
一、大刀 銘 包水 一口 (鎌倉中期・大和)
一、短刀 銘 無銘 名物大鼓眞宗 一口 (吉野朝時代・相模)
一、短刀 銘 備中國住次直作 延文三年十一月日 一口 (同 備中)
一、刀 銘 大摺上ヶ名物大俱利迦羅廣光 一口 (同 相模)
一、大刀 銘 備前國長船住義景 一口 (備前)
一、刀 銘 山城大掾藤原惠國包 一口 (桃山時代・仙臺)

東京 公爵 鷹司 信輔殿
一、大刀 銘 石州出羽住直綱作 一口 (室町時代)
東京 竹下 勇殿
一、刀 銘 大摺上ヶ無銘 傳眞長 一口 (鎌倉末期・備前)
一、刀 銘 傳長義 無銘 一口 (吉野朝時代・備前)

東京 武富邦茂殿
一、脇指 銘 肥前國忠吉 一口 (桃山時代・肥前)
八月吉日
一、刀 銘 肥前國住藤原忠廣 寛永十四年二月吉日 一口 (同)
一、刀 銘 長曾禰興里入道 萬治四年山野勘十郎ノ截斷銘アリ 一口 (江戸時代・江戸)

大阪 田中太介殿
重要美術品
一、大刀 銘 兼永 一口 (傳平安朝時代・山城)
一、大刀 銘 一 一口 (鎌倉中期・備前)
重要美術品
一、大刀 銘 談議所國吉 一口 (同 末期・筑前)

富山 高島辰之助殿
重要美術品
一、刀 銘 大摺上ヶ無銘傳信國 一口 (吉野朝時代・山城)
一、短刀 銘 國廣 一口 (桃山時代・京都)
一、刀 銘 以南蠻鐵於武州江戸越前康繼 慶長十九年八月吉日 一口 (同 江戸)

一、脇指 銘 莊司筑前大掾直胤花押 彫よししたれ文政十四年仲秋 一口 (幕末時代・江戸)

一、大刀 銘 大摺上ヶ傳三池 國寶
一、大刀 銘 筑州住左 銘 筑州住左 名物江雪左文
一、短刀 銘 筑州住左 銘 鳥頭太刀
重要美術品
一、大刀 銘 備前長船 慶長六年

東京 肥前國忠 慶長六年
一、刀 銘 肥前國忠 慶長六年
重要美術品
一、大刀 銘 助眞 一
一、大刀 拵 眞長 鳥頭太刀

東京 備前長船 慶長六年
一、刀 銘 肥前國忠 慶長六年
重要美術品
一、大刀 銘 助眞 一
一、大刀 拵 眞長 鳥頭太刀

東京 安藝國入 永仁五年
一、刀 銘 村正 一口
重要美術品
一、大刀 銘 安藝國入 永仁五年

一、刀 銘 水心子正秀 文化九年二 應慶田直親
一、脇指 銘 備前國住 藤原勝光 朝風永正 松下昌俊
東京 兵庫
一、脇指 銘 備前國住 藤原勝光 朝風永正 松下昌俊

東京 永仁四年
一、大刀 銘 來國俊 永仁四年
重要美術品
一、大刀 銘 國村 一口
一、薙刀 銘 眞守 一口
國寶
一、短刀 銘 筑州住左
重要美術品
一、刀 銘 大摺上ヶ 名物

東京 日本號 一
一、鑊 無銘 日本號 一
東京
一、短刀 無銘 傳行光
一、短刀 銘 平安城住國 慶長十四年
一、短刀 銘 播磨守輝廣
一、薙刀 銘 長曾禰興里 延寶四年二月

大阪
一、大刀 銘 包次 一口
一、大刀 銘 爲清 一口
一、刀 銘 大摺上ヶ 傳三池
重要美術品
一、短刀 銘 眞宗 本阿花押

重要美術品
一、高彫色繪青雁圖木瓜形 銘 山城國伏見
一、薄肉彫獅子圖鑲銀小柄 銘 乘意

一、薄肉彫獅子圖鑲銀小柄 銘 乘意

加藤 正 治殿

(鎌倉初期・備中)

國友 一口

(同 末期・肥後)

三日 一口

(同 末期・相模)

加藤 武 男殿

(幕末時代・江戸)

河瀬 虎三 郎殿

(鎌倉初期・山城)

(同 備前)

左近將監長光造 一口

(同 末期・備前)

一 口

(鎌倉末期・山城)

(同 相模)

(同 山城)

相模國住人廣光

文和二年卯月

(吉野朝時代・相模)

三日 一口

(同 山城)

左衛門尉藤原朝臣

坂庄黑坂造

藤原朝臣泰佐打之

二月十三日

(足利時代・備前)

三左衛門尉祐定

信長拵附

月吉日

(足利時代・備前)

原忠廣 一口

(桃山時代・佐賀)

廣 一口

(江戶時代・大阪)

一月 一口

(同 相模)

(同 相模)

桃山時代・江戶

道虎殿 一口

(江戶時代・江戶)

道虎殿 一口

(江戶時代・江戶)

金家一枚(足利時代)

鐵鐔

一枚(江戶時代)

一、短刀 銘 武藏大塚藤原忠廣 一口 (肥前)

寬永六年二月吉日

東京 竹中次郎殿

一、大刀 銘 豊後國曾定秀作 一口 (傳平安朝時代・豊後)

東京 伯爵津輕義孝殿

重要美術品

一、金丸透銅鐔 銘 東兩 一枚 (江戶時代・江戶)

東京 伯爵津輕義孝殿

同

一、千綯透撫角形銅鐔 銘 東兩 一枚 (同)

同

一、赤銅魚子地高彫色繪關羽張飛圖小柄 一口

銘 宗珉花押 (同)

同

一、赤銅魚子地高彫色繪壽老圖小柄 一口

銘 宗珉花押 (同)

同

一、臙銀金創鱧魚子地高彫色繪爭虎圖小柄 一口

銘 宗珉花押 (同)

東京 子爵土屋正直殿

國寶

一、大刀 銘 則宗 一口 (鎌倉初期・備前)

同

一、大刀 銘 守家造 一口 (同 中期・備前)

備前國長船住景光 一口

元弘四年二月 日 (同 末期・備前)

東京 長尾欽彌殿

一、大刀 銘 正恒 一口 (傳平安朝時代・備前)

重要美術品

一、大刀 銘 國清 一口 (鎌倉初期・山城)

同

一、大刀 銘 國宗 一口 (同 中期・備前)

一、大刀 銘 大摺上ケ傳三池 一口 (鎌倉時代・筑後)

國寶

一、大刀 銘 筑州住左 一口 (同 筑前)

名物江雪左文字

一、大刀 銘 筑州住左 一口 (同 筑前)

重要美術品

一、大刀 銘 備州長船住長義 一口 (吉野朝時代・備前)

東京 伯爵南部利英殿

重要美術品

一、大刀 銘 助真 一口 (鎌倉中期・備前)

同

一、大刀 銘 拵鳥頭大刀 (德川時代) 一口 (同 末期・備前)

東京 伯爵鍋島直映殿

一、刀 銘 肥前國忠吉 慶長六年八月吉日 一口 (桃山時代・肥前)

重要美術品

一、薄肉彫鐵拵銀小柄 一口 (江戶時代)

銘 乘意

京都 鞍馬寺殿

國寶

一、黑漆劔 (寺傳坂上田村麿佩劔) 一口 (傳平安朝時代)

一、三鈎柄黑漆劔 一口 (鎌倉時代)

東京 子爵松平康春殿

重要美術品

一、刀 銘 大摺上ケ 金象嵌銘 一口

傳義弘

江本阿彌光德磨上花押

所持稻葉勘右衛門尉

天正十三年十二月 日 (同 末期・越中)

東京 子爵松平直顯殿

重要美術品

一、大刀 銘 順慶 (鎌倉末期・備前)

同

一、大刀 銘 來國光 一口 (同 末期・山城)

東京 松谷豐次郎殿

重要美術品

一、大刀 銘 助真 一口 (鎌倉中期・備前)

一、刀 銘 國路 一口 (桃山時代・京都)

東京 福島保三郎殿

一、劔 銘 久國 一口 (鎌倉時代・山城)

一、刀 銘 大摺上ケ無銘 一口 (鎌倉末期・相模)

傳正宗

一、刀 銘 兼氏 (吉野朝時代・美濃)

東京 公爵近衛文麿殿

國寶

一、短刀 銘 吉光 一口 (鎌倉中期・山城)

重要美術品

一、大刀 銘 備前國宇甘鄉雲生 一口 (同 末期・備前)

一、大刀 銘 八幡大菩薩 (同 末期・備前)

一、大刀 銘 備前國住雲次 一口 (同 末期・備前)

一、大刀 銘 備後住正 以下切 一口 (同 末期・備後)

東京 伯爵有馬頼寧殿

國寶

一、大刀 銘 國俊 一口 (鎌倉中期・山城)

一、大刀 銘 景依 一口 (同 備前)

一、短刀 銘 則重 一口 (同 末期・越中)

東京 伯爵阿部正直殿

國寶

一、大刀 銘 國行 一口 (鎌倉時代)

備前國住長船左京進宗光

同次郎左衛門尉勝光

重要美術品

一、刀 銘 金象嵌銘 光忠 光德花押 一口 (鎌倉中期・備前)

一、刀 銘 金象嵌銘 正家磨上 光德花押 一口 (同 末期・備後)

重要美術品

一、大刀 銘 備中國住守次作 延文二年十二月 日 一口 (吉野朝時代・備中)

京都 岸本貫之助殿

一、刀 銘 武州江戶越前康繼 一口

以南蠻鐵未世寶二册

本多五郎右衛門所持 (桃山時代・江戶)

一、刀 銘 越後守藤原國壽 一口 (桃山時代・山城)

京都 岸本正之助殿

一、埋忠壽齋本大閤御物押形 一卷

神奈川 伯爵溝口直亮殿

一、短刀 無銘 一口

名物長谷川江 (鎌倉末期・越中)

東京 三矢宮松殿

一、長卷直シ 銘 大和尻懸住則長 一口 (鎌倉末期・大和)

一、短刀 銘 宇多國房 一口 (足利時代・越中)

一、刀 銘 越中守正俊 一口 (桃山時代・京都)

住東叡山忍岡邊虎入道

彫物同作 延寶二年八月吉日 一口 (江戶時代・江戶)

津田近江守助直 一口 (同 大阪)

貞亨二年八月 日

青森 澁谷文男殿

一、大刀 銘 助真 一口 (鎌倉中期・備前)

一、大刀 銘 則房 一口 (同)

東京 篠崎都香佐殿

國寶

一、短刀 銘 鎌倉住人新藤五國光作 一口 永仁元年十月三日 (鎌倉末期・相模)

東京 藤原三千郎殿

重要美術品

一、大刀 銘 貞繼 一口 (鎌倉時代・大和)

東京 日野雄太郎殿

一、獅子丸拵大刀 (模造・原品鎌倉時代) 一口

東京 秀島成忠殿

一、薙刀 銘 播磨守藤原輝廣 一口 (桃山時代・廣島)

東京 公爵毛利元昭殿

國寶

一、短刀 無銘 拵當麻 菊造腰刀 (吉野時代) 一口 (鎌倉末期・大和)

備前國住長船五郎左衛門尉清光作

依毛利右馬允元就所望 一口

赤松下野守政秀作之畢 天文廿三年八月吉日 (足利時代・備前)

備前州住長船兵衛尉藤原國光作之 天文八年二月吉日 一口 (同備前)

源清應 嘉永二年八月 日 (幕末時代・江戶)

東京 森榮一殿

重要美術品

兵庫 瀬戸保太郎殿

一、大刀 銘 國安 一口 (鎌倉初期・山城)

一、大刀 銘 光忠 一口 (同 中期・備前)

同

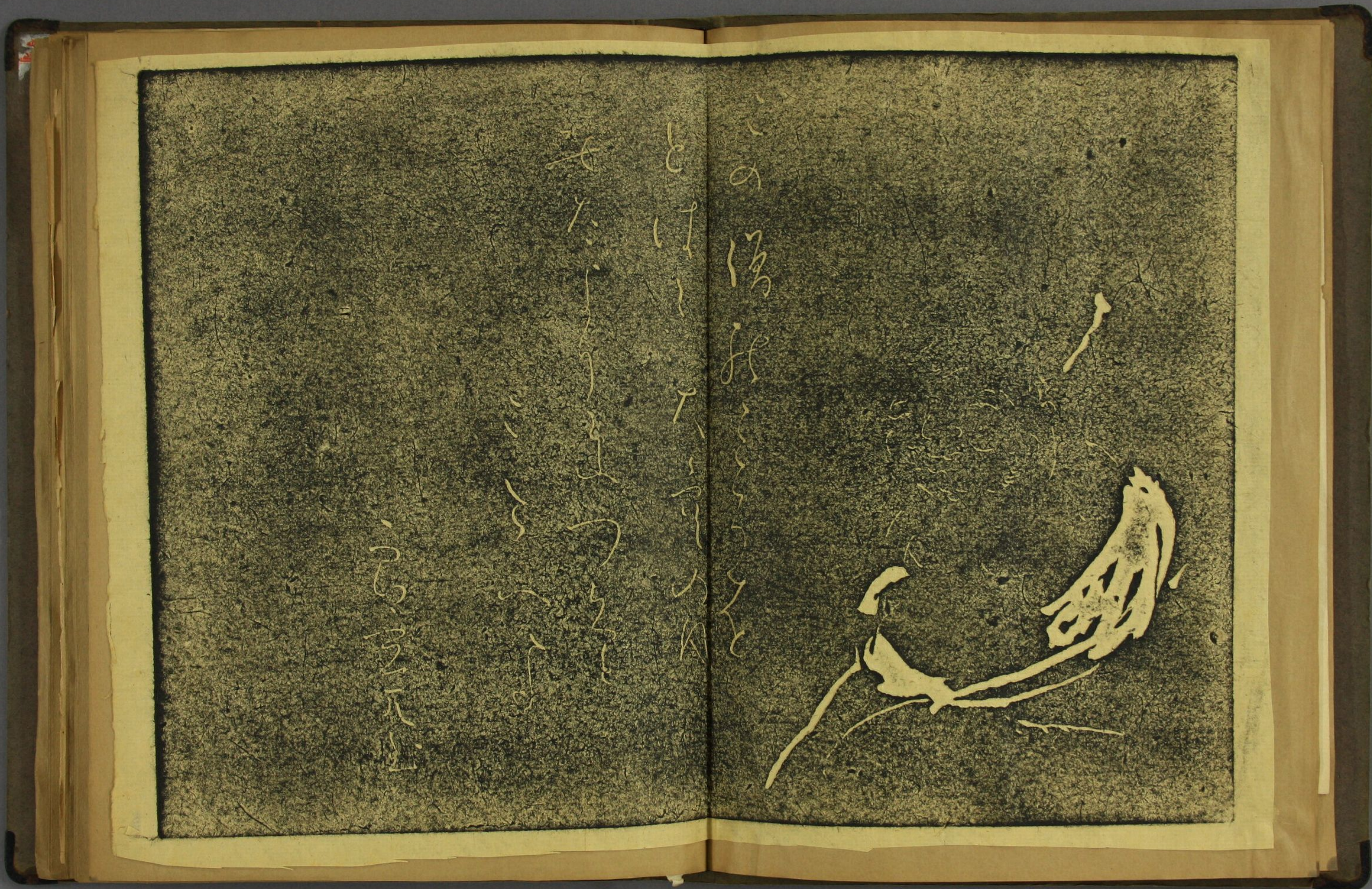
一、大刀 銘 大和則長 一口 (同 末期・大和)

同

一、大刀 銘 大摺上ケ傳義弘 一口 (同 末期・越中)

名物村雲郷

一、刀 銘 和州手攝任重國於駿府造之 一口 (桃山時代・大和)

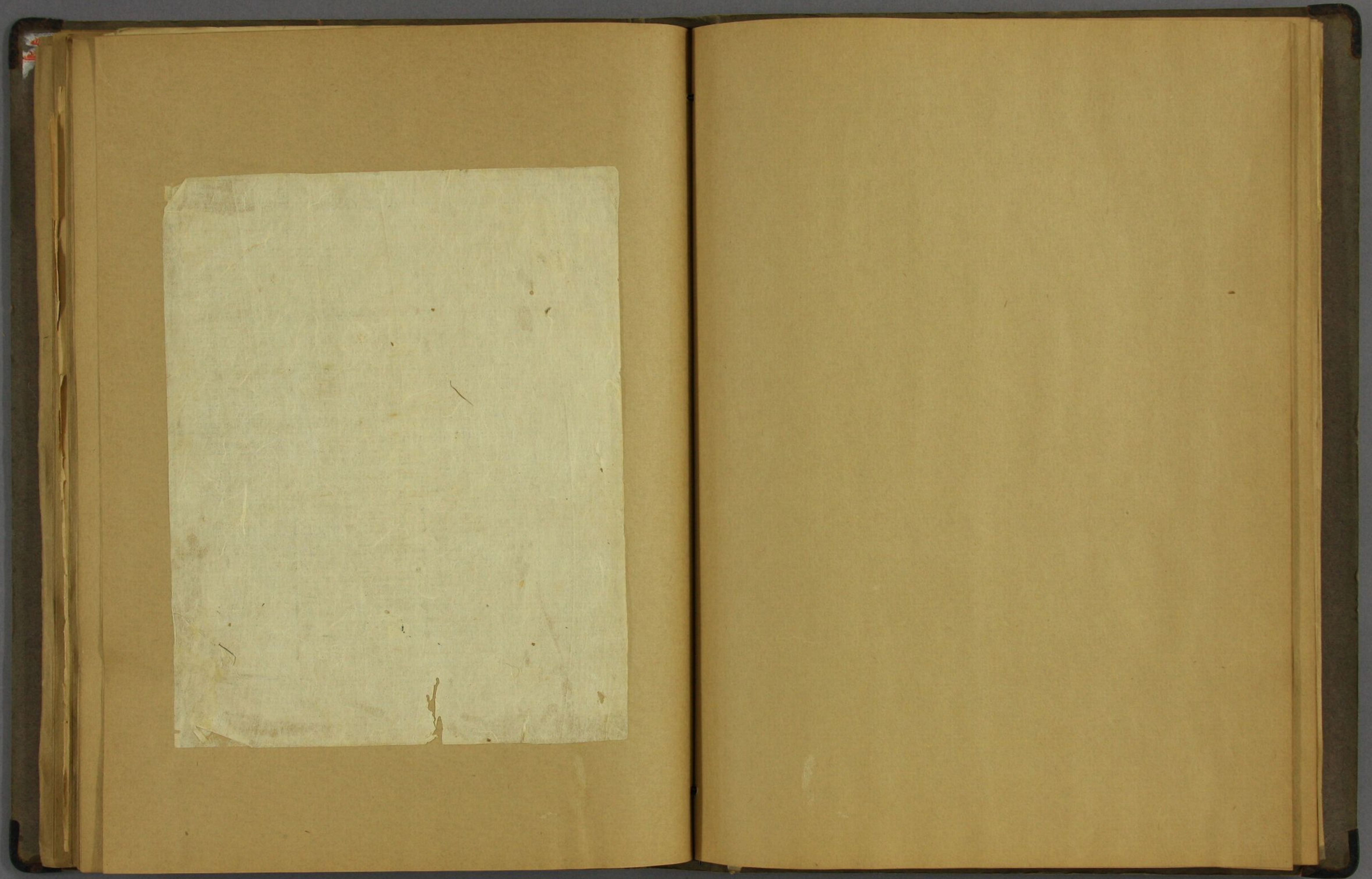


Handwritten text on the left page, oriented vertically. The characters are faint and appear to be in a cursive script, possibly Japanese or Chinese.

Handwritten text on the left page, oriented vertically. The characters are faint and appear to be in a cursive script, possibly Japanese or Chinese.







網際千景語婉轉十三行

第廿

歌人歌のよのたま

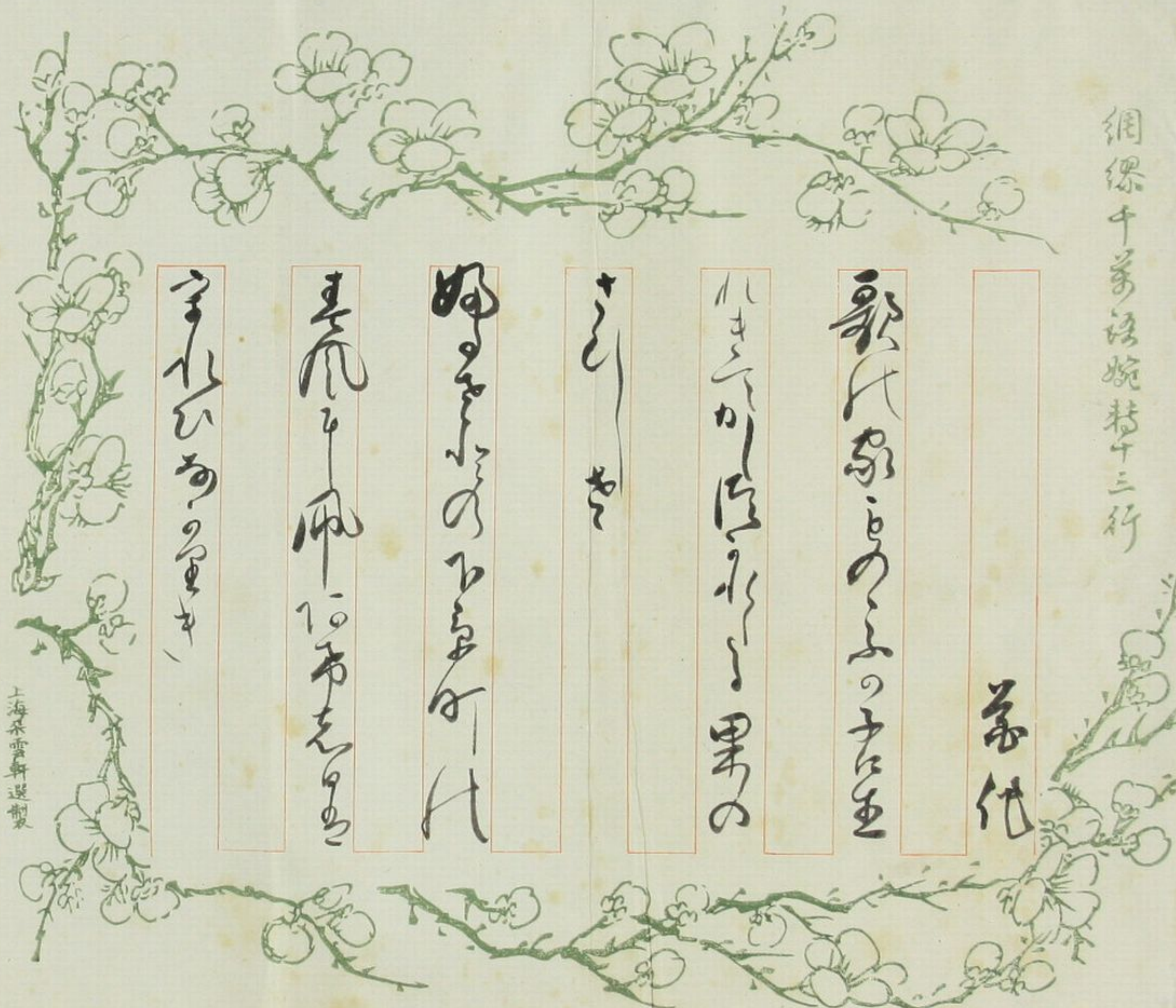
はまかきかたの果の

こ

あまのこころ

まはる風はあまのこ

ころのあまのこ



上海美術書局製

明治三十二年
 野口英世
 市島海吉殿



大正四年十二月 日
 野口英世
 敬具

Dr. HIDEYO NOGUCHI,
 THE ROCKEFELLER INSTITUTE
 FOR MEDICAL RESEARCH
 68TH STREET AND AVENUE A.
 NEW YORK



Mr. K. Ichishima,
 Tokyo,
 Japan.

東京市島海吉殿
 市島海吉殿

曙多月海堤工事の御覽文を辨て社会堂の定章と多々
十二年八月

尾崎行雄先生に書きたる
十二年十月

交詢社多々式公長長玉後美副総局長大
十三年一月

池田河内長前島松遊遊記
大久保河内松遊記
十三年二月

片玉河内河内新生香梅堂在末
十三年五月

河内新改い木下士族の船遊記と多々
河内新改い木下士族の船遊記と多々
河内新改い木下士族の船遊記と多々
十三年七月

河内の大火五十四カ所
十三年八月

本学政科連の遊記と動儀
十三年十一月

河内新改い木下士族の船遊記と多々
十三年十一月

本校舎の御覧文を辨て
十三年二月

大木金力心火を免れた
十三年二月

西園寺 東洋自由新聞の社説を退く
十三年四月

去原大門開つ式 社史の編 十五年四月

代官人の口：江守生紙 十五年五月

加島弘之先生の寄稿記に任せる 十五年七月

大善の尾崎氏神社権少書記及び... 十五年七月

北海道の百物拂下経... 十五年八月

主筆の近重と但儀... 十五年三月

之宮寺の政を一但儀へ... 同上

板垣信地政争に刺せる 十五年四月

朝鮮事件 十五年八月

東京女子の各校開校 十五年九月

三美と共同運輸の佐藤河魁の政近自高の暴行 十五年三月

板垣信地政争 十五年三月

信紙通計書 十五年四月

主之改定 嘉正四年 大隈邸 函 十五年四月

新条例改正 嘉正四年 十五年四月

予心高田 柱付 嘉正四年

自由空解教 十七年十月

成治御北殿寸 十七年十月

大隈、河内殿 鐘 陰 十七年十二月

工部省 嘉正 亦信有 嘉正 十七年十二月

山崎酒造のり死 十八年二月 料理費六万人分

赤井京邸の判決 十八年六月

三黄共同の喧嘩白熱化 奥平の上り下り物 十八年七月

五代及屋の火事 十八年九月

帝國大正令の事 十九年一、二、三月

大坂屋敷事件 十九年四月

乙乃利の自殺 十九年八月

長崎の舟屋共三つ暴動の件 十九年八月

ノミントン近松 十九年十月

新橋代橋竣工 十九年十一月

伊豆修例為市 二十年十二月

比賣古曾神寶

天皇三年四月
 國政奉命
 於西
 天
 下聖跡
 萬聖
 天皇
 日東

靈顯記考

之能靈距記の子集古十種及び之餘香古の書古
之はもやまの世乃思密なるふとをもて世り類人あれ

このふつと并とむは隆寺此書師光背の銘をもも、
禎基

とく徳もも日寺れの中院護摩堂の觀世音菩薩の銘、
歲次

丙寅年正月まこありて美の佛ふこつと一年にて
推古帝の

十四年の古あたる十種をけこし余の書にまじぬを
追きは梅

ぬののまふれこくはの世まふんこもつた
又こあは

望るはこふとる元来御凡のけりもろし物なるを
おにめて石の

こもなれこしてその地のこ低にたはたてこつと
こあは

やいさおのたつふあをまはたはるあ年のあふ
たはる

うは使一低くは思ひつこあのおにまこ
あはけはる

をけりこつはあはるこ方まはあり
あはこ

あはまこつこつはあはるこ方まはあり
あはこ

さてけこつはあはるこ方まはあり
あはこ

れとこあを記と等由良宮治天下天皇二年甲寅歲次

身四月美國政君命補高津之宮皇居荒廢地於石

花少關西丘白鴨御池上大小橋山地以石墻墾之者即永

保天下聖趾安固萬世靈蹤故也 奉行九大史攝津
上宮臣武夫麻呂 埴上度 日東こあるはしきとせし等由良
宮の推古帝の國政名、聖德太子の石花母とミルンに前で
しよ、猪飼付の爲乃東二下にあるといふと白鶴御池の味原池の
一名大少橋山とこの餌うまらにあつる埴上度とつらととい
ふしこあるこの後のとく等由良の推古帝の國政名を太子の
がは千一書記に攝政以百機悉くあまを埴上度のこ
ふらう一初名抄に埴と波ふこあり、其師にこの凡と造りし
の

この度字の字書に於て志解うた、日東こは凡の
名こく推古帝の朝崇峻と皇の少時百高と凡博士麻
奈文奴陽貴文とこの人歸化せ給日東こは凡の
がは千一九大史とサグハハとも弁官の史にて右政友の
のまのこへに於て執事おこす、文書と古書とをなかり
九大史のなにく極けのまをこ、この千一武夫麻呂といふ
さくそくをこきくうりてなると歴史とこをこ、この千一仁徳
天皇のなるとみまこつ、この千一推古天皇の甲寅まて

次時文子
信士書

Handwritten calligraphy in cursive script (caoshu) on a piece of paper pasted over the notebook pages. The characters are bold and expressive, with visible brush strokes. The text is arranged in two horizontal lines across the center of the spread.

कृतं कर्मणि

शान्तिना भाग्यः

मयकृत्या
प्रनेकयत्नैः

कनक कर्मभार

शारिणा भार्याः

मयकृत्या
प्रनेकयाम्

野老野

天明八年正月 齋宿者云云

賀嶋出雲校

賀嶋長門校

世

Handwritten text in red ink on a piece of paper pasted onto the left page of an open book. The text is written in a cursive script, likely Arabic or Persian, and is arranged in four vertical lines. The right page of the book is blank.



八

書

齋

板橋



所

集

八



一

書

齋

板橋



水野粹君碑

從五位小野君碑 元老院議官從四位中村正直謨
君諱白樺小野為氏二月廿日嘉永壬子生于土佐宿毛之里節吉是考助
野是幼時軟弱就學多怠十三歲翻然慙悔酒井南類塾曰望美日課
詩文研經史遷日新館進學人駭第一書生高樓憑机固請從軍戊辰
載及至缺後賦徒伏罪岩邨通侯愛君霖以携游京洛開達必有一日以扇
擊君類類汝節吉子恨豚大爾息人一言深澈骨髓自期事業不成不止誓
避女色曾不被洩真正英雅用力在此鴻鵠有志燕雀任誑解去士格航于
歐米小野義真資給助濟專學法律深究根柢明治甲戌君始出仕司法大
政求第遷迨十三未宜行革政會計檢査院始置主一等檢査君先僚案
夙夜匪懈到直自矢其志不行力請職解立憲改進黨將發企君在其間拮
据整理一時之盛彰聞遠邇專門學校教育子弟君為議負言中肯綮暇餘
著書以燭晷國憲沉論辯如江海民法之骨筆肩光彩不朽止業不負期
詩甲申九月咯血病起丙戌一月逼于危殆十有一日溘然而死謚額入院
東洋居士僅三十五不永年齒顧其所為多可載紀為學通博渾洋具體在
宦到正不肯柔靡為政治家能圖國是盛年備之可稱英偉君多良友不謂
吾鄙合辭請銘我豈可已

明治二十年丁亥五月
從三位勳一等伯爵大隈重信篆額

大内青巒書

宮龜年刻

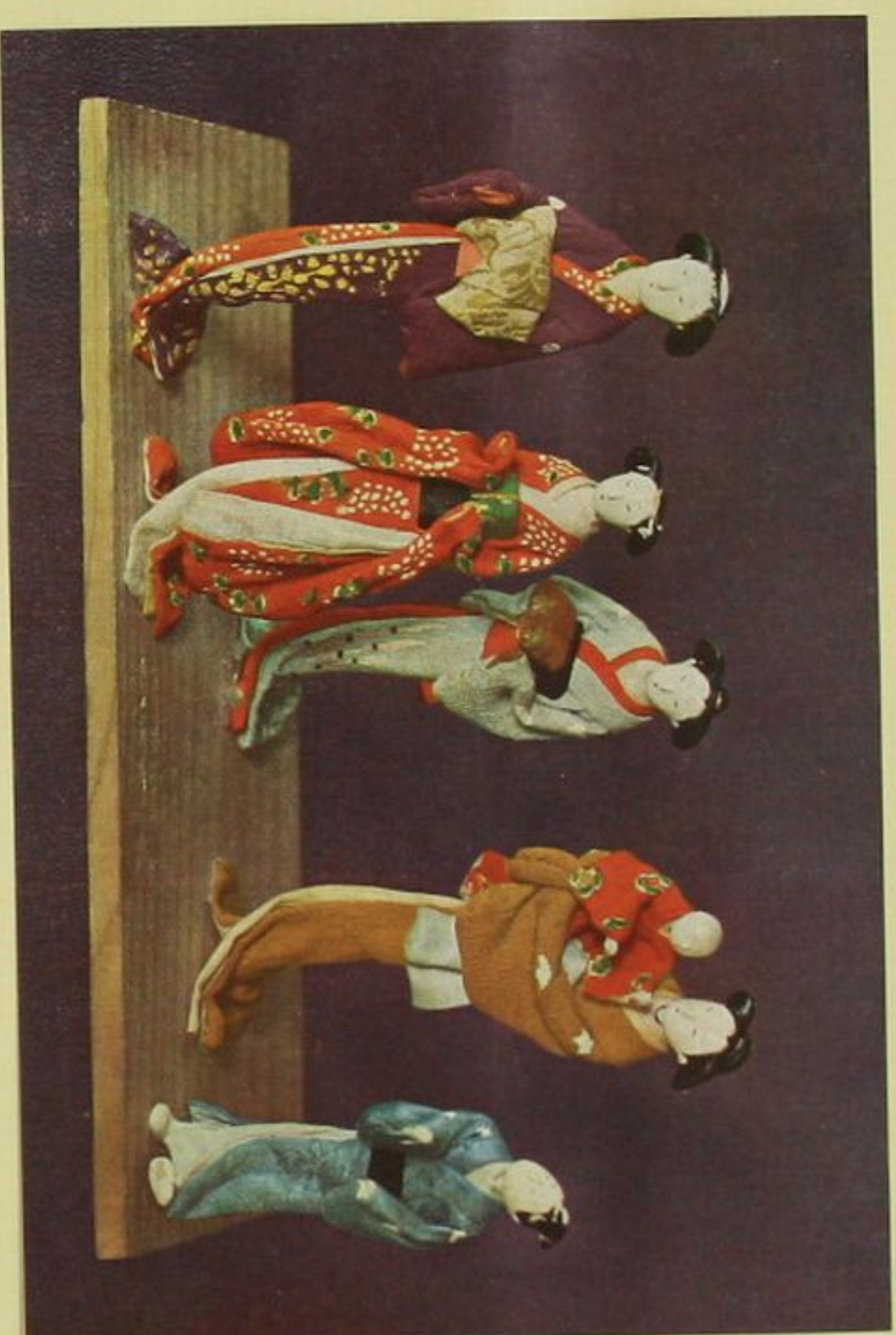
彩雲堂縮寫及印行



「び遊馬やじやじ」形人瓶焼



罐 立



「お詣り宮」形人工細お

▲△
書中
處處
皆有
△△
▲△

賀川 清編輯

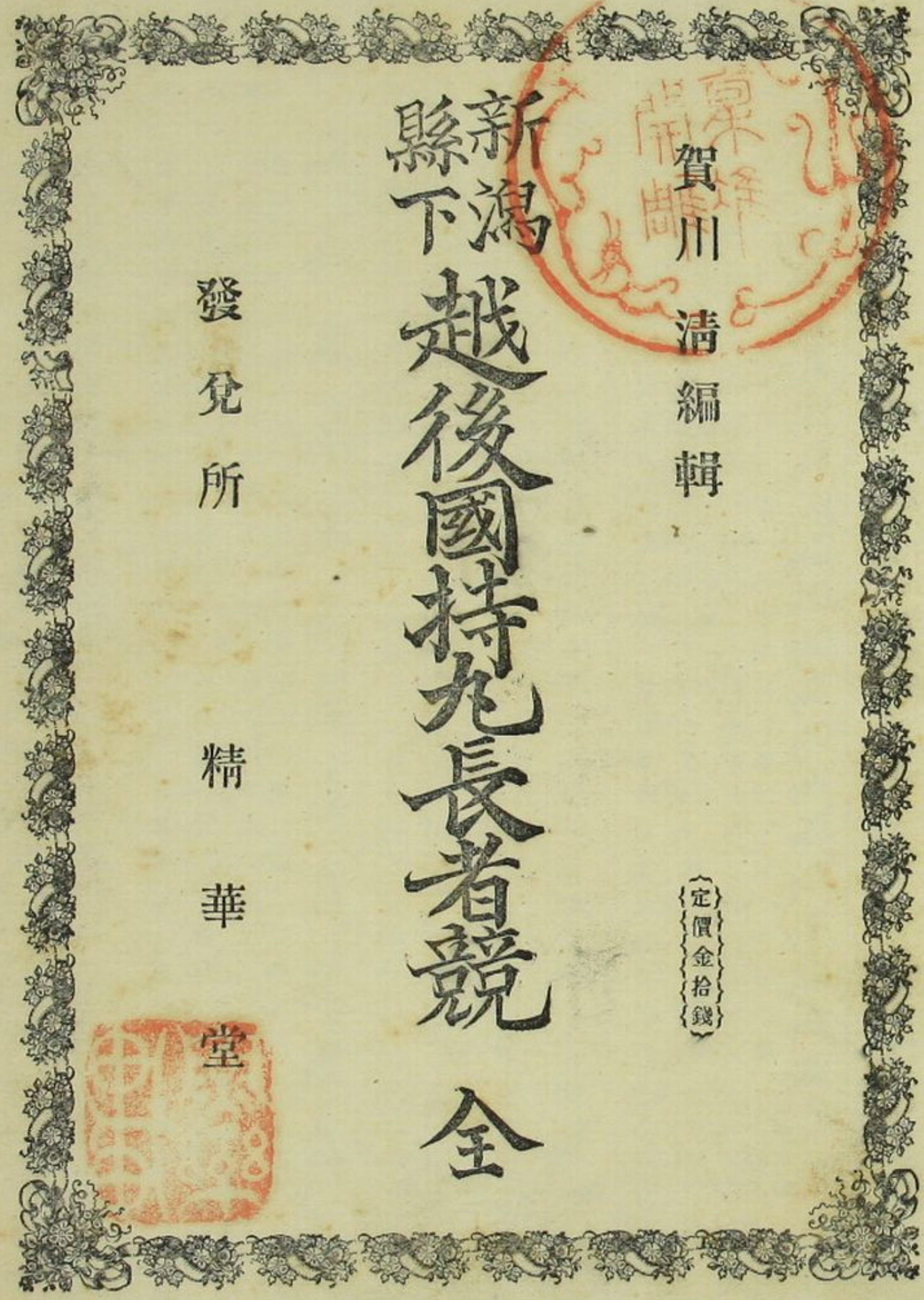
〔定價金拾錢〕

新潟縣下
越後國持丸長者競全

發兌所

精華

堂



石長權服小阿柄大相和押吉田井藤山野川野本田山山間岸林部原川多政三
本谷川平部池澤大澤合澤泉木田井藤山野川野本田山山間岸林部原川多政三
多川平部池澤大澤合澤泉木田井藤山野川野本田山山間岸林部原川多政三

寄年
○長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村 〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村

石長權服小阿柄大相和押吉田井藤山野川野本田山山間岸林部原川多政三
本谷川平部池澤大澤合澤泉木田井藤山野川野本田山山間岸林部原川多政三

○長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村 〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村
〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村 〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村

寄年
〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村 〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村

石長權服小阿柄大相和押吉田井藤山野川野本田山山間岸林部原川多政三
本谷川平部池澤大澤合澤泉木田井藤山野川野本田山山間岸林部原川多政三

〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村 〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村
〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村 〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村

寄年
〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村 〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村

石長權服小阿柄大相和押吉田井藤山野川野本田山山間岸林部原川多政三
本谷川平部池澤大澤合澤泉木田井藤山野川野本田山山間岸林部原川多政三

〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村 〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村
〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村 〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村

寄年
〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村 〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村

石長權服小阿柄大相和押吉田井藤山野川野本田山山間岸林部原川多政三
本谷川平部池澤大澤合澤泉木田井藤山野川野本田山山間岸林部原川多政三

〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村 〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村
〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村 〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村

寄年
〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村 〇長岡町 〇新津村 〇道賀新田 〇北方村

石長權服小阿柄大相和押吉田井藤山野川野本田山山間岸林部原川多政三
本谷川平部池澤大澤合澤泉木田井藤山野川野本田山山間岸林部原川多政三

全 明治十八年十二月廿七日御届
日出版

編輯人 新瀨縣平民 新瀨縣下旭町廿八番地
出版人 新瀨縣平民 新瀨縣東通二百廿一番地

英一繁七十一
繁辭世

海
き世の業の多を

あ
七月能くす

友安
德春
田

豐年
清春

豐年
清春

Handwritten text in three vertical columns, likely a list or index, written in Arabic script. The text is contained within a white rectangular border.

١٠٠	١٠١	١٠٢
١٠٣	١٠٤	١٠٥
١٠٦	١٠٧	١٠٨
١٠٩	١١٠	١١١
١١٢	١١٣	١١٤
١١٥	١١٦	١١٧
١١٨	١١٩	١٢٠
١٢١	١٢٢	١٢٣
١٢٤	١٢٥	١٢٦
١٢٧	١٢٨	١٢٩
١٣٠	١٣١	١٣٢
١٣٣	١٣٤	١٣٥
١٣٦	١٣٧	١٣٨
١٣٩	١٤٠	١٤١
١٤٢	١٤٣	١٤٤
١٤٥	١٤٦	١٤٧
١٤٨	١٤٩	١٥٠
١٥١	١٥٢	١٥٣
١٥٤	١٥٥	١٥٦
١٥٧	١٥٨	١٥٩
١٦٠	١٦١	١٦٢
١٦٣	١٦٤	١٦٥
١٦٦	١٦٧	١٦٨
١٦٩	١٧٠	١٧١
١٧٢	١٧٣	١٧٤
١٧٥	١٧٦	١٧٧
١٧٨	١٧٩	١٨٠
١٨١	١٨٢	١٨٣
١٨٤	١٨٥	١٨٦
١٨٧	١٨٨	١٨٩
١٩٠	١٩١	١٩٢
١٩٣	١٩٤	١٩٥
١٩٦	١٩٧	١٩٨
١٩٩	٢٠٠	٢٠١
٢٠٢	٢٠٣	٢٠٤
٢٠٥	٢٠٦	٢٠٧
٢٠٨	٢٠٩	٢١٠
٢١١	٢١٢	٢١٣
٢١٤	٢١٥	٢١٦
٢١٧	٢١٨	٢١٩
٢٢٠	٢٢١	٢٢٢
٢٢٣	٢٢٤	٢٢٥
٢٢٦	٢٢٧	٢٢٨
٢٢٩	٢٣٠	٢٣١
٢٣٢	٢٣٣	٢٣٤
٢٣٥	٢٣٦	٢٣٧
٢٣٨	٢٣٩	٢٤٠
٢٤١	٢٤٢	٢٤٣
٢٤٤	٢٤٥	٢٤٦
٢٤٧	٢٤٨	٢٤٩
٢٥٠	٢٥١	٢٥٢
٢٥٣	٢٥٤	٢٥٥
٢٥٦	٢٥٧	٢٥٨
٢٥٩	٢٦٠	٢٦١
٢٦٢	٢٦٣	٢٦٤
٢٦٥	٢٦٦	٢٦٧
٢٦٨	٢٦٩	٢٧٠
٢٧١	٢٧٢	٢٧٣
٢٧٤	٢٧٥	٢٧٦
٢٧٧	٢٧٨	٢٧٩
٢٨٠	٢٨١	٢٨٢
٢٨٣	٢٨٤	٢٨٥
٢٨٦	٢٨٧	٢٨٨
٢٨٩	٢٩٠	٢٩١
٢٩٢	٢٩٣	٢٩٤
٢٩٥	٢٩٦	٢٩٧
٢٩٨	٢٩٩	٣٠٠
٣٠١	٣٠٢	٣٠٣
٣٠٤	٣٠٥	٣٠٦
٣٠٧	٣٠٨	٣٠٩
٣١٠	٣١١	٣١٢
٣١٣	٣١٤	٣١٥
٣١٦	٣١٧	٣١٨
٣١٩	٣٢٠	٣٢١
٣٢٢	٣٢٣	٣٢٤
٣٢٥	٣٢٦	٣٢٧
٣٢٨	٣٢٩	٣٣٠
٣٣١	٣٣٢	٣٣٣
٣٣٤	٣٣٥	٣٣٦
٣٣٧	٣٣٨	٣٣٩
٣٤٠	٣٤١	٣٤٢
٣٤٣	٣٤٤	٣٤٥
٣٤٦	٣٤٧	٣٤٨
٣٤٩	٣٥٠	٣٥١
٣٥٢	٣٥٣	٣٥٤
٣٥٥	٣٥٦	٣٥٧
٣٥٨	٣٥٩	٣٦٠
٣٦١	٣٦٢	٣٦٣
٣٦٤	٣٦٥	٣٦٦
٣٦٧	٣٦٨	٣٦٩
٣٧٠	٣٧١	٣٧٢
٣٧٣	٣٧٤	٣٧٥
٣٧٦	٣٧٧	٣٧٨
٣٧٩	٣٨٠	٣٨١
٣٨٢	٣٨٣	٣٨٤
٣٨٥	٣٨٦	٣٨٧
٣٨٨	٣٨٩	٣٩٠
٣٩١	٣٩٢	٣٩٣
٣٩٤	٣٩٥	٣٩٦
٣٩٧	٣٩٨	٣٩٩
٤٠٠	٤٠١	٤٠٢
٤٠٣	٤٠٤	٤٠٥
٤٠٦	٤٠٧	٤٠٨
٤٠٩	٤١٠	٤١١
٤١٢	٤١٣	٤١٤
٤١٥	٤١٦	٤١٧
٤١٨	٤١٩	٤٢٠
٤٢١	٤٢٢	٤٢٣
٤٢٤	٤٢٥	٤٢٦
٤٢٧	٤٢٨	٤٢٩
٤٣٠	٤٣١	٤٣٢
٤٣٣	٤٣٤	٤٣٥
٤٣٦	٤٣٧	٤٣٨
٤٣٩	٤٤٠	٤٤١
٤٤٢	٤٤٣	٤٤٤
٤٤٥	٤٤٦	٤٤٧
٤٤٨	٤٤٩	٤٥٠
٤٥١	٤٥٢	٤٥٣
٤٥٤	٤٥٥	٤٥٦
٤٥٧	٤٥٨	٤٥٩
٤٦٠	٤٦١	٤٦٢
٤٦٣	٤٦٤	٤٦٥
٤٦٦	٤٦٧	٤٦٨
٤٦٩	٤٧٠	٤٧١
٤٧٢	٤٧٣	٤٧٤
٤٧٥	٤٧٦	٤٧٧
٤٧٨	٤٧٩	٤٨٠
٤٨١	٤٨٢	٤٨٣
٤٨٤	٤٨٥	٤٨٦
٤٨٧	٤٨٨	٤٨٩
٤٩٠	٤٩١	٤٩٢
٤٩٣	٤٩٤	٤٩٥
٤٩٦	٤٩٧	٤٩٨
٤٩٩	٥٠٠	٥٠١
٥٠٢	٥٠٣	٥٠٤
٥٠٥	٥٠٦	٥٠٧
٥٠٨	٥٠٩	٥١٠
٥١١	٥١٢	٥١٣
٥١٤	٥١٥	٥١٦
٥١٧	٥١٨	٥١٩
٥٢٠	٥٢١	٥٢٢
٥٢٣	٥٢٤	٥٢٥
٥٢٦	٥٢٧	٥٢٨
٥٢٩	٥٣٠	٥٣١
٥٣٢	٥٣٣	٥٣٤
٥٣٥	٥٣٦	٥٣٧
٥٣٨	٥٣٩	٥٤٠
٥٤١	٥٤٢	٥٤٣
٥٤٤	٥٤٥	٥٤٦
٥٤٧	٥٤٨	٥٤٩
٥٥٠	٥٥١	٥٥٢
٥٥٣	٥٥٤	٥٥٥
٥٥٦	٥٥٧	٥٥٨
٥٥٩	٥٦٠	٥٦١
٥٦٢	٥٦٣	٥٦٤
٥٦٥	٥٦٦	٥٦٧
٥٦٨	٥٦٩	٥٧٠
٥٧١	٥٧٢	٥٧٣
٥٧٤	٥٧٥	٥٧٦
٥٧٧	٥٧٨	٥٧٩
٥٨٠	٥٨١	٥٨٢
٥٨٣	٥٨٤	٥٨٥
٥٨٦	٥٨٧	٥٨٨
٥٨٩	٥٩٠	٥٩١
٥٩٢	٥٩٣	٥٩٤
٥٩٥	٥٩٦	٥٩٧
٥٩٨	٥٩٩	٦٠٠
٦٠١	٦٠٢	٦٠٣
٦٠٤	٦٠٥	٦٠٦
٦٠٧	٦٠٨	٦٠٩
٦١٠	٦١١	٦١٢
٦١٣	٦١٤	٦١٥
٦١٦	٦١٧	٦١٨
٦١٩	٦٢٠	٦٢١
٦٢٢	٦٢٣	٦٢٤
٦٢٥	٦٢٦	٦٢٧
٦٢٨	٦٢٩	٦٣٠
٦٣١	٦٣٢	٦٣٣
٦٣٤	٦٣٥	٦٣٦
٦٣٧	٦٣٨	٦٣٩
٦٤٠	٦٤١	٦٤٢
٦٤٣	٦٤٤	٦٤٥
٦٤٦	٦٤٧	٦٤٨
٦٤٩	٦٥٠	٦٥١
٦٥٢	٦٥٣	٦٥٤
٦٥٥	٦٥٦	٦٥٧
٦٥٨	٦٥٩	٦٦٠
٦٦١	٦٦٢	٦٦٣
٦٦٤	٦٦٥	٦٦٦
٦٦٧	٦٦٨	٦٦٩
٦٧٠	٦٧١	٦٧٢
٦٧٣	٦٧٤	٦٧٥
٦٧٦	٦٧٧	٦٧٨
٦٧٩	٦٨٠	٦٨١
٦٨٢	٦٨٣	٦٨٤
٦٨٥	٦٨٦	٦٨٧
٦٨٨	٦٨٩	٦٩٠
٦٩١	٦٩٢	٦٩٣
٦٩٤	٦٩٥	٦٩٦
٦٩٧	٦٩٨	٦٩٩
٧٠٠	٧٠١	٧٠٢
٧٠٣	٧٠٤	٧٠٥
٧٠٦	٧٠٧	٧٠٨
٧٠٩	٧١٠	٧١١
٧١٢	٧١٣	٧١٤
٧١٥	٧١٦	٧١٧
٧١٨	٧١٩	٧٢٠
٧٢١	٧٢٢	٧٢٣
٧٢٤	٧٢٥	٧٢٦
٧٢٧	٧٢٨	٧٢٩
٧٣٠	٧٣١	٧٣٢
٧٣٣	٧٣٤	٧٣٥
٧٣٦	٧٣٧	٧٣٨
٧٣٩	٧٤٠	٧٤١
٧٤٢	٧٤٣	٧٤٤
٧٤٥	٧٤٦	٧٤٧
٧٤٨	٧٤٩	٧٥٠
٧٥١	٧٥٢	٧٥٣
٧٥٤	٧٥٥	٧٥٦
٧٥٧	٧٥٨	٧٥٩
٧٦٠	٧٦١	٧٦٢
٧٦٣	٧٦٤	٧٦٥
٧٦٦	٧٦٧	٧٦٨
٧٦٩	٧٧٠	٧٧١
٧٧٢	٧٧٣	٧٧٤
٧٧٥	٧٧٦	٧٧٧
٧٧٨	٧٧٩	٧٨٠
٧٨١	٧٨٢	٧٨٣
٧٨٤	٧٨٥	٧٨٦
٧٨٧	٧٨٨	٧٨٩
٧٩٠	٧٩١	٧٩٢
٧٩٣	٧٩٤	٧٩٥
٧٩٦	٧٩٧	٧٩٨
٧٩٩	٨٠٠	٨٠١
٨٠٢	٨٠٣	٨٠٤
٨٠٥	٨٠٦	٨٠٧
٨٠٨	٨٠٩	٨١٠
٨١١	٨١٢	٨١٣
٨١٤	٨١٥	٨١٦
٨١٧	٨١٨	٨١٩
٨٢٠	٨٢١	٨٢٢
٨٢٣	٨٢٤	٨٢٥
٨٢٦	٨٢٧	٨٢٨
٨٢٩	٨٣٠	٨٣١
٨٣٢	٨٣٣	٨٣٤
٨٣٥	٨٣٦	٨٣٧
٨٣٨	٨٣٩	٨٤٠
٨٤١	٨٤٢	٨٤٣
٨٤٤	٨٤٥	٨٤٦
٨٤٧	٨٤٨	٨٤٩
٨٥٠	٨٥١	٨٥٢
٨٥٣	٨٥٤	٨٥٥
٨٥٦	٨٥٧	٨٥٨
٨٥٩	٨٦٠	٨٦١
٨٦٢	٨٦٣	٨٦٤
٨٦٥	٨٦٦	٨٦٧
٨٦٨	٨٦٩	٨٧٠
٨٧١	٨٧٢	٨٧٣
٨٧٤	٨٧٥	٨٧٦
٨٧٧	٨٧٨	٨٧٩
٨٨٠	٨٨١	٨٨٢
٨٨٣	٨٨٤	٨٨٥
٨٨٦	٨٨٧	٨٨٨
٨٨٩	٨٩٠	٨٩١
٨٩٢	٨٩٣	٨٩٤
٨٩٥	٨٩٦	٨٩٧
٨٩٨	٨٩٩	٩٠٠
٩٠١	٩٠٢	٩٠٣
٩٠٤	٩٠٥	٩٠٦
٩٠٧	٩٠٨	٩٠٩
٩١٠	٩١١	٩١٢
٩١٣	٩١٤	٩١٥
٩١٦	٩١٧	٩١٨
٩١٩	٩٢٠	٩٢١
٩٢٢	٩٢٣	٩٢٤
٩٢٥	٩٢٦	٩٢٧
٩٢٨	٩٢٩	٩٣٠
٩٣١	٩٣٢	٩٣٣
٩٣٤	٩٣٥	٩٣٦
٩٣٧	٩٣٨	٩٣٩
٩٤٠	٩٤١	٩٤٢
٩٤٣	٩٤٤	٩٤٥
٩٤٦	٩٤٧	٩٤٨
٩٤٩	٩٥٠	٩٥١
٩٥٢	٩٥٣	٩٥٤
٩٥٥	٩٥٦	٩٥٧
٩٥٨	٩٥٩	٩٦٠
٩٦١	٩٦٢	٩٦٣
٩٦٤	٩٦٥	٩٦٦
٩٦٧	٩٦٨	٩٦٩
٩٧٠	٩٧١	٩٧٢
٩٧٣	٩٧٤	٩٧٥
٩٧٦	٩٧٧	٩٧٨
٩٧٩	٩٨٠	٩٨١
٩٨٢	٩٨٣	٩٨٤
٩٨٥	٩٨٦	٩٨٧
٩٨٨	٩٨٩	٩٩٠
٩٩١	٩٩٢	٩٩٣
٩٩٤	٩٩٥	٩٩٦
٩٩٧	٩٩٨	٩٩٩
١٠٠٠	١٠٠١	١٠٠٢

